

添付資料

高齢者の住まいに関する意識調査

全体集計結果

本調査の狙いと調査方法

都心部に住む高齢者が、高齢期に住む住まいや住み替えに関して、どのような意識を持っているのか調査しました。調査方法は、シニアライフ情報センターの会員を中心に、外部セミナーの参加者や協力団体の会員を対象にアンケート用紙を配布。合計 471 名の方から回答を頂きましたので、その結果をご報告します。

調査概要

日時	平成 20 年 10 月末
配布数	1450 名
回答者数	471 名
回収率	32.5%

調査は平成 20 年 10 月末に実施。シニアライフ情報センターの会員や協力団体合わせて 1450 名にアンケート用紙を配布。471 名から有効回答を得た。

調査方法は、アンケートの送付と配布の 2 通り。

アンケート送付 郵送にて回収 (10 月 25 日発送)

シニアライフ情報センター 会員 約 1000 名 回収 297 通

JTB 会員 約 50 名 回収 30 通

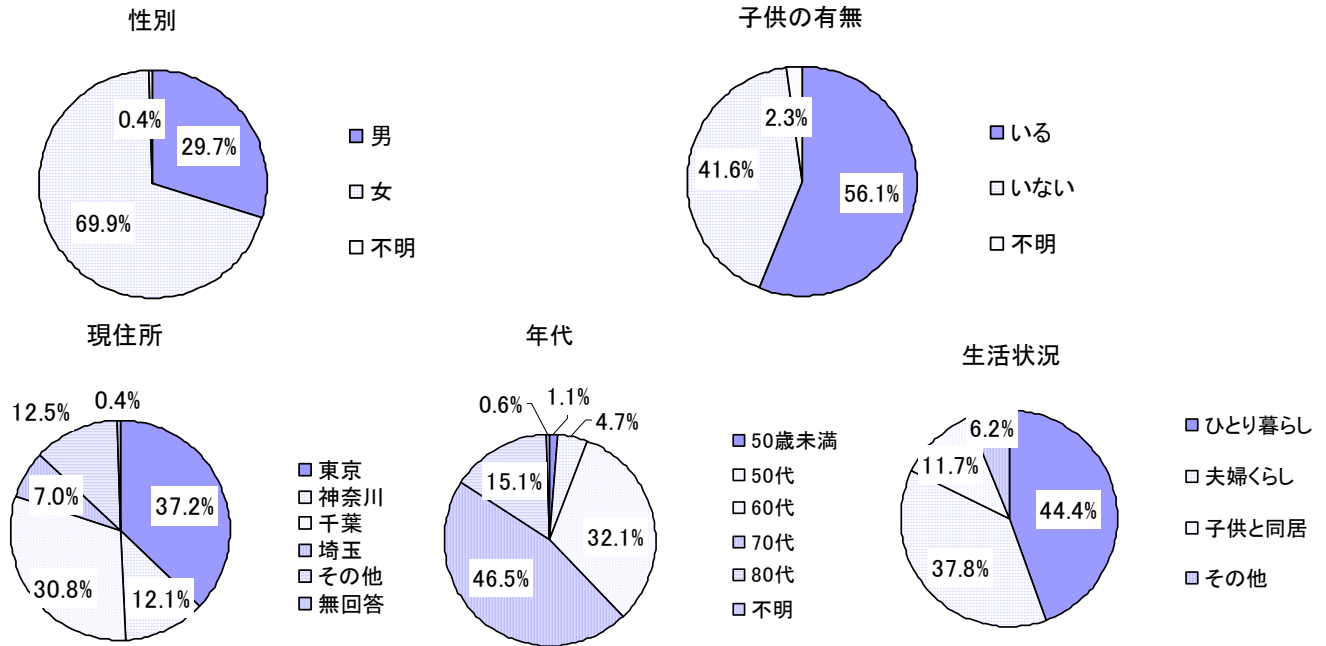
アンケート配布 その場で回収

我孫子市主催セミナー (9 月 27 日実施) 約 300 名/回収 115 名

りすシステム主催セミナー (9 月 28 日実施) 約 50 名/回収 29 名

回答者 概要

性別	男	女	不明				
	140	329	2				
子供の有無	いる	いない	不明				
	264	196	11				
現住所	東京	神奈川	千葉	埼玉	その他	無回答	
	175	57	145	33	59	2	
年代	50歳未満	50代	60代	70代	80代	不明	平均年齢
	5	22	151	219	71	3	71.70
生活状況	ひとり暮らし	夫婦暮らし	子供と同居	その他			
	209	178	55	29			



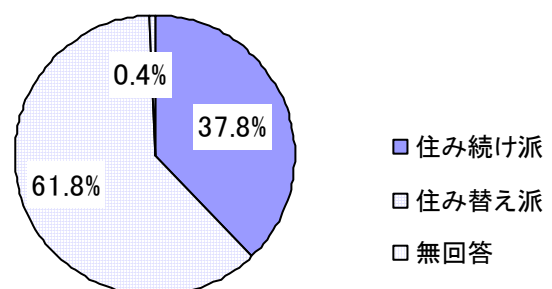
配布先の団体の特徴上、全国を対象とした一般高齢者と比べ偏りがあると思われる。(他の調査との比率の比較)

回答者の全体傾向としては、女性が約7割。70代が46.5%と最も多く、次いで60代が3割をしめる。平均年齢71.7歳。子供がいる方が56%と約半数だが、現在ひとり暮らしが44.4%、夫婦の二人暮らしが37.8%。子供と同居しているのは1割のみ。

東京、千葉、神奈川、埼玉の在住者が多い。

Q1. あなたは「住み続け派」ですか？「住み替え派」ですか？ (n=471)

住み続け派	住み替え派	無回答
178	291	2



全体としては、住み替え派が 61.8%とすみ続け派より多い。

ただし、回答者の属性によって偏りがある。

シニアライフ会員だけでみると、74.2%が住み替え派。

NPO りすシステム会員は 93.1%が住み替え派。

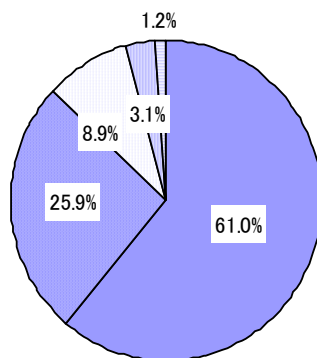
理由は介護になった時に不安があるから、頼れる家族や親族がいないから。自分で判断行動できるうちに住み替えたい。

一方で、我孫子市セミナーでは、73.9%が住み続け派、地域の連携や家族状況によって、意識はだいぶ違ってくる。

Q2. 住まいや財産の処分はどのようにお考えですか？

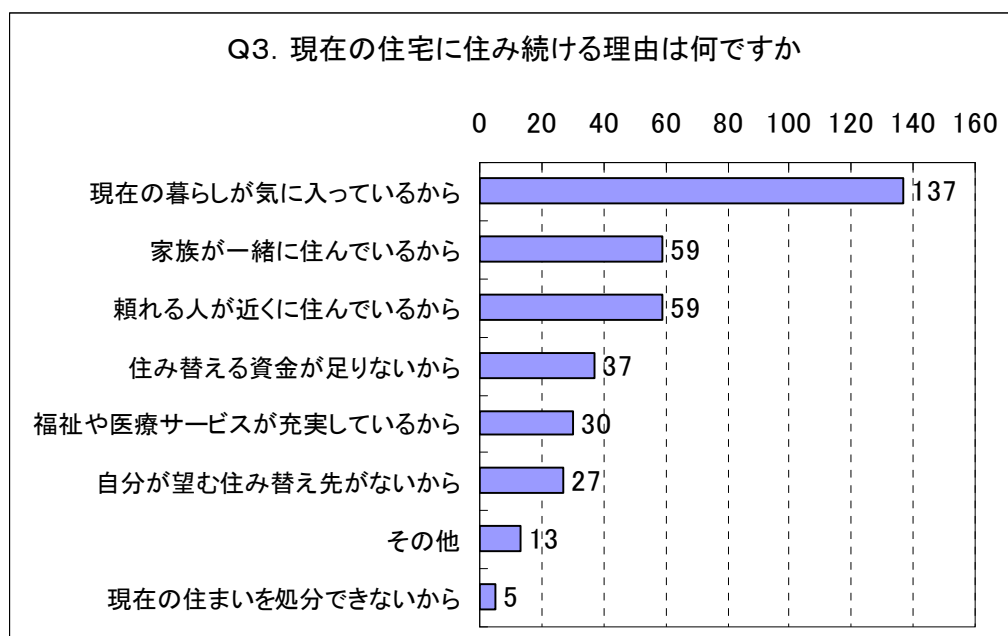
(n=247)

自分で処分する	158
家族に任せる	67
第三者に任せる	23
寄付する	8
友人に任せる	3



- 自分で処分する
- 家族に任せる
- 第三者に任せる
- 寄付する
- 友人に任せる

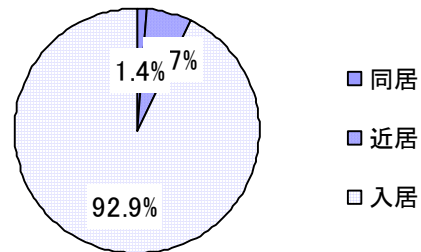
Q3. 現在の住宅に住み続ける理由は何ですか？ (複数回答) (n=181)



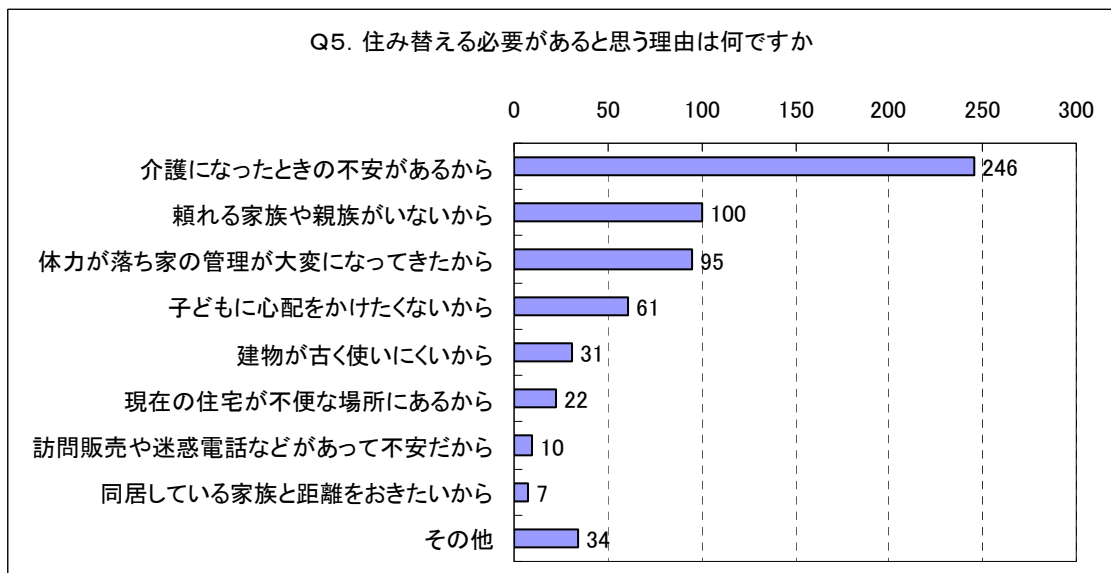
住み続け派の理由として、「現在の暮らしが気に入っているから」が最も多い。次いで、家族や頼れる人が一緒に住んでいる、近くに住んでいるのを理由にあげた人が多かった。資金不足や希望する住み替え先がないなどの理由を挙げた人は少ない。

Q4. 住み替えはどのような方法をお考えですか？ (n=282)

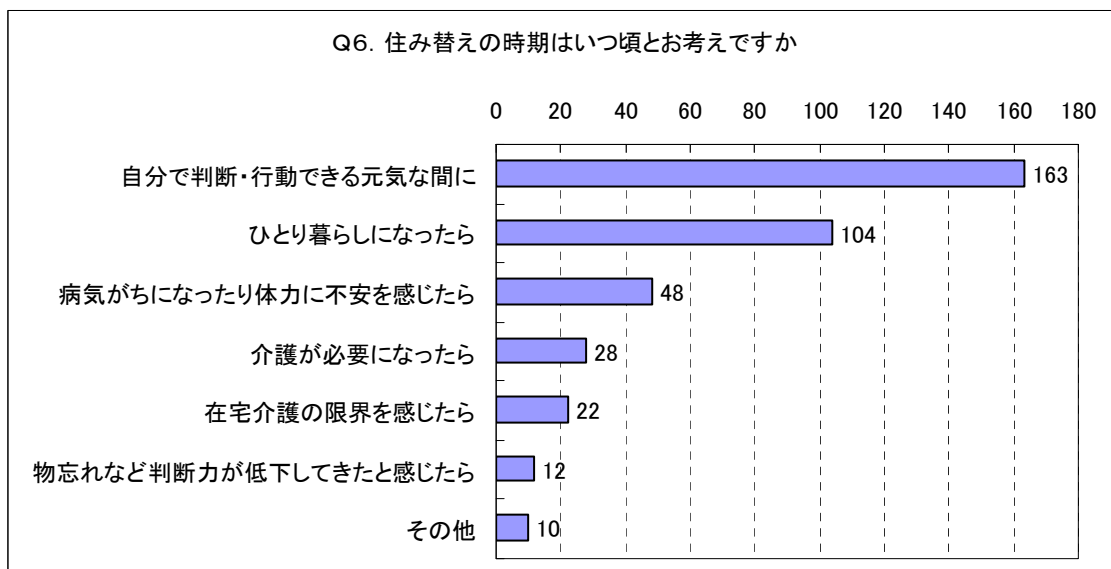
同居	近居	入居
4	16	262



Q5. 住み替える必要があると思う理由は何ですか？ (複数回答) (n=293)

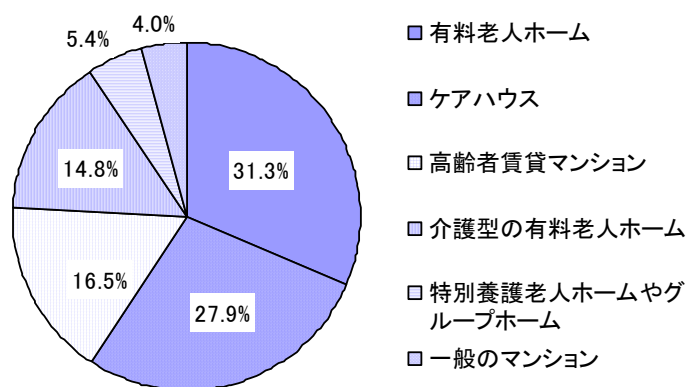


Q6. 住み替えの時期はいつ頃とお考えですか？ (n=304)

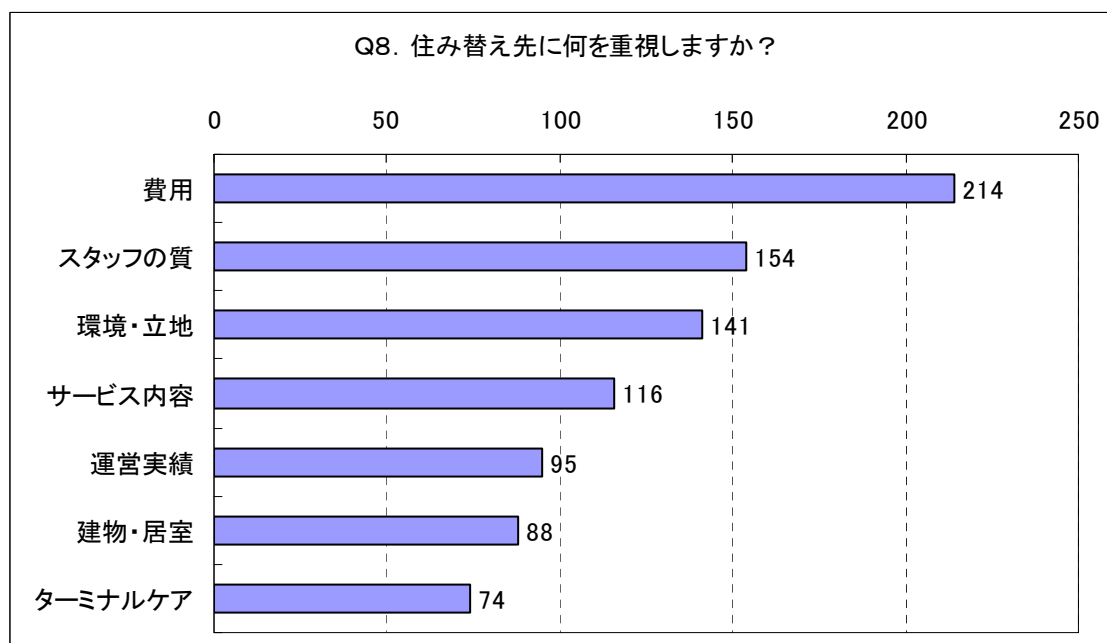


Q7. 住み替え先はどこをお考えですか？ (n=294)

有料老人ホーム	93
ケアハウス	83
高齢者賃貸マンション	49
介護型の有料老人ホーム	44
特別養護老人ホームやグループホーム	16
一般のマンション	12



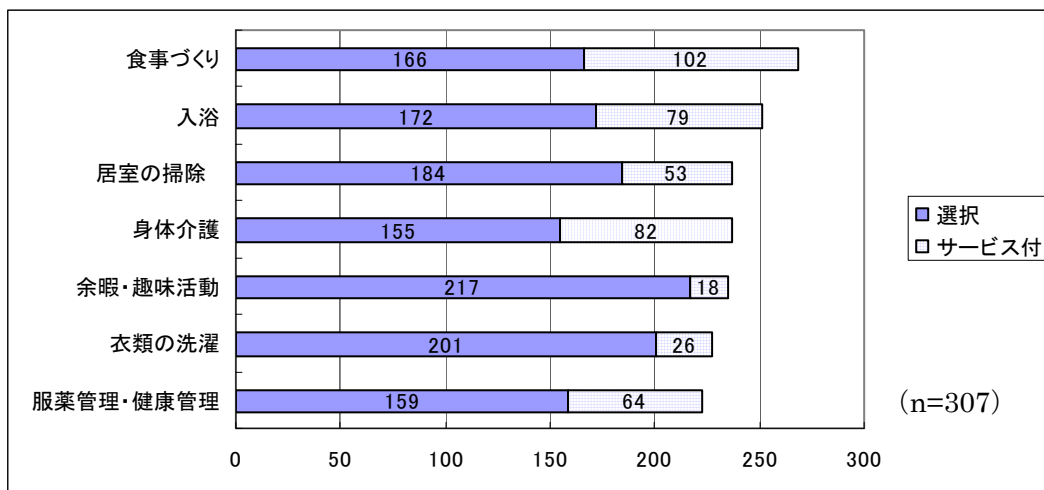
Q8. 住み替えにあたり何を重視しますか？ (上位3つを選択) (n=309)



Q9. 住み替え先のサービスはどのような利用方法がいいですか？

選択サービス：自分で行う、もしくは必要な時だけお金を支払って利用したい

サービス付：事業者側が常にサービスを提供し、利用の有無に関わらず費用は利用料に含む

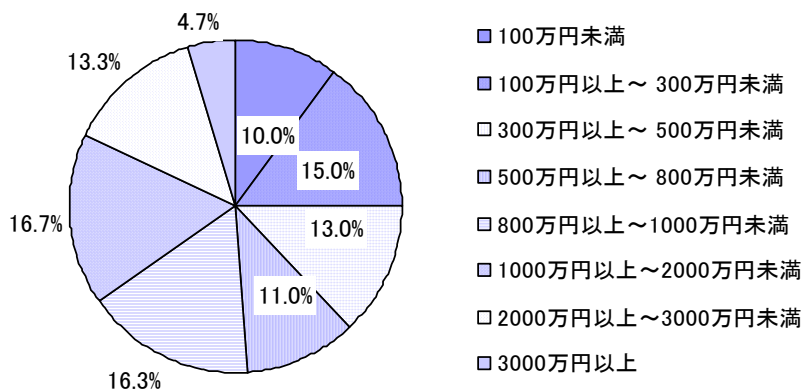


住み替え先のサービスのあり方について、アンケートに答えた人が自立者であるため、サービスは利用した分だけ支払うオプション形式を希望する人が多い。必要最低限で費用を安くしたいとする意見が多く聞かれた。

Q10. ひとりあたりの入居時の費用は、どの程度をお考えですか？

100万円未満	30
100万円以上～300万円未満	45
300万円以上～500万円未満	39
500万円以上～800万円未満	33
800万円以上～1000万円未満	49
1000万円以上～2000万円未満	50
2000万円以上～3000万円未満	40
3000万円以上	14

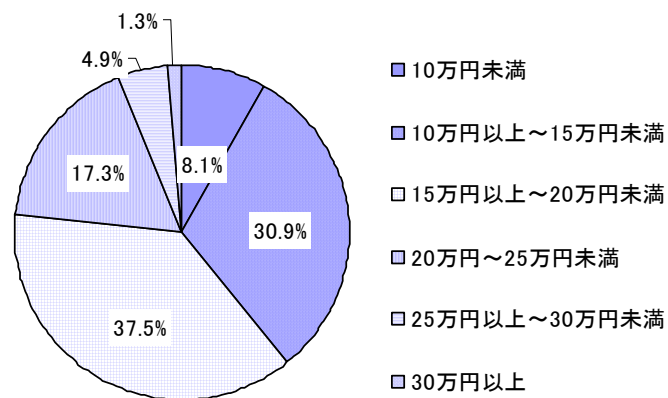
(n=298)



入居時に一時金として支払える額は、1000万～2000万円が16.7%と最も多く、次いで800万円～1000万円が16.3%、3番目に100万円～300万円が15%で、全体的に均一な割合となっているが、2000万円以上払える層が2割弱と富裕層も多い。

Q11. ひとりあたりの月額費用はどの程度をお考えですか？

10万円未満	25
10万円以上～15万円未満	95
15万円以上～20万円未満	115
20万円～25万円未満	53
25万円以上～30万円未満	15
30万円以上	4



月額費用はひとりの場合、15万円～20万円未満が37.5%と最も多く、次いで10万円～15万円が30.9%を占めており、預貯金で補っても20万円未満で利用できるところが望ましい。との声が聞かれている。一方20万円以上が可能とする人も2割強いる。